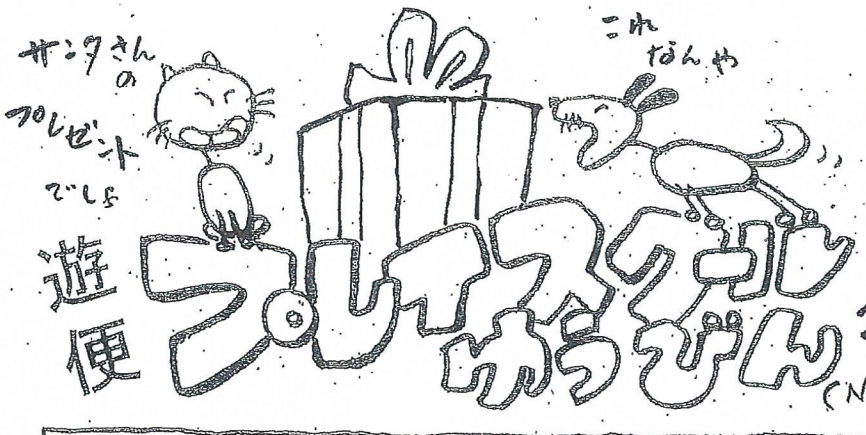


遊便プレイスクール通信

(財)プレイスクール協会
雑創の森プレイスクール
TEL:0774-63-0951
福岡プレイスクール
TEL:092-761-0592

2019 12
(No.460)

みちをあるいているとき してはいけないこと

福岡プレイスクールの子どもたちに聞いた

☆サンタさんにぜひしてほしいこと

◎サンタさんもよろこぶかも

・いっしょにごはんをたべる
・ソリでいっしょにそらをとぶ
・わたしとけっこん
・いっしょにごはんをたべにいく
・プレゼントくばりをいっしょにする

◎できるといいね

・おにごっこ
・サンタさんにおもちゃのつくりかたをおしえてもらう
・ソリにのせてもらってオーロラをみにいく
・おんぶをしてほしい
・たたかいたい
・がっこうでがんばっているところをみにきてもらう
・カレーライスでしょうぶ
・カメンライダーのクイズ
・プレゼントこうじょうにつれていってもらう
・いっしょにジュースをのみながらパーティー
・たくさんのおねだりをきいてほしい
・えいごのれんしゅうをいっしょにする

◎してくれるかな？

・メガネゴリラをたおしてほしい
・しょうたいをみせる
・サンタさんのかみをそめる
・おれがきたぞーとしゃしんをSNSにアップする
・まるはだかになってほしい
・サンタさんをいえにとじこめる
・ぜんぶのくにをいいあいっこする

アホミイケイジバン

みちをあるいているとき　してはいけないこと

●笑っちゃいます

・スマホ（わらいごとではないよね）

●ようわかってるやん

・はしったらあかん　・みちのまんなかをあるくこと　・どうろにでたらだめ　・どうろにとびださない　・くるまにきをつけること　・どうろでねないこと・ひとにぶつからない　・おともだちをおさないだってボカンッとこけるもん　・ひとのぢゃまをする・しんごうをみとく　・おしっこ

・あそぶこと　・いしなげ　・あるきながら　おやつをたべたらダメ・いしのうえを　のってころがす・おやつをたべること　・ふうちんとうしろあるきすること　・めををつぶりながら　おうだんほどうをわたりながら　おどる　・さかだちでまわりながら　あるく　・あたまにパンツをかぶってあるく　・まるくなってはしる　・あなをほってさかなつりをする
・みちのひょうしきをけす

・しらんひとにあって　おかしあるよって　つれていかれたらだめ・しらないおじさんに　ついていかない・かんちょうしないこと・はくせんをもうひとつかいて　ほどうをひろげる・みちにダイナマイトをしかける　・スカートめくり　・おかあさんのけいたいをこっそりみること　・あおりほこう(おとうさんのこたえ)

次回(じかい)の　「サンタさんにぜひしてほしいことはなに」
お題(だい)は　おたよりまってます（ドクロポストへ）

「転ばぬ先の杖」は大切だけど、「転んだ経験を教訓」に

最近は危機管理能力が低下している子が多いと言われています。
子どもが考える前に親が「危ない、やめなさい！」と先回りして行動を止めてしまったりすることが多く見受けられますし、公共の施設、遊具なども必要以上に安全管理がされすぎて、子どもたちが危険を察知する前に回避させられてしまっています。（危険だから面白いとは思いませんが。）

転ばぬ先の杖で、危ないからといって安全な道筋を大人が引きすぎてしまい、転ばない環境を作ってしまうと転んだ時の対処方法が分からなくなってしまいます。
これは大人が自分に降りかかってくるのを防ぐための防御策ではないでしょうか。

本当は何が大切なのでしょう。
転ばぬように声をかけるのは大切ですが、少しぐらいのことなら転ぶ前に声をかけるより、転んでも対処ができているか、ちゃんと自分で起き上がれるかを見てあげて、その後「あそこに〇〇があるからつまずいたでしょう。今度からはそこに気をつけるんだよ。」と、転んでもケガが少なくなるように対処することを教えることが大切なのではないでしょうか。
そうすれば次からは少しずつ気を付けるようになるでしょう。

これは転ぶとか転ばないの問題ではなく、子どもが何かをしようとする前に親が「ああしなさい、それはダメ！」と指示を出し過ぎてしてしまうと、“指示待ち症候群”になってしまうということです。

子どもを見ていることは大切ですが、手を出しすぎない、口を出しすぎないことが肝心です。

だからと言って放りっぱなしはいけません。ちゃんと見ているよ。という信号も常に送ってください。見られていると、子どもはちゃんと頑張るものです。

今日あなたは、「過干渉」または「放りっぱなし」になっていませんでしたか？

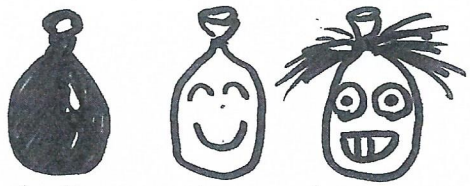
山本　直幸

ナースリークラス

◎今月の『おやこでプレイスクール』は、"ダンボールであそぼう"ということで、プレイルームにダンボールを広げ、おうち、車、トンネルなどお父さん、お母さんが、はさみ、カッター、ガムテープを使い、子ども達が好きなものをたくさん!!にしてくれました。みんなでトンネルを通ったり、車ができあがったのを見て「ボクも乗りたい!」となると、順番で乗ったり、もうひとつ車用車を急いで作ってくれたりと、通常活動ではなかなかできないスピードで、いろいろな物ができあがっていくので、子ども達もとても楽しそうでした。時々こわれて悲しくなったり怒りたくなったりするけど、「修理すれば大丈夫!!」ガムテープペタペタでまたあそびは始まります。子ども達、どのくらいの時間、一緒にあそべるかな?(集中力がもつかな?)と思っていたのですが、かなり長い時間(終わりましょうと言うまで)あそんでいたことも驚きでした。スゴイです!! みなさんのご協力あってのことです。ありがとうございました。

◎この↑おやこの活動の後、おうち、トンネル、車など残していて、それであそびました。参加した子は「お母さんと作ってね…」と説明していますが、初めて見た子は目の前に楽しそうなのがあるので、そこに向って一目散。説明は耳に入っていません。説明していた子は「ボクの…!!」と当然言いたくなっちゃうので、「すごいのできたっちゃんねー。一緒にあそんでいーい?」と一言いうと、にっこりになって「いいよー!!」と。「こっちもあるよー」と案内もしてくれて、みんなであっちくぐって、こっちに逃げて、かくれんぼして、とても楽しくあそぶことができました。そのうち子ども達全員で同時にかくれて、「みんないませんよー」なんてかくれていました。<よっこ>

幼児クラス



@スクィーズ作り

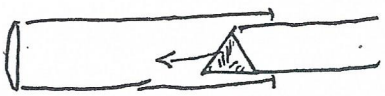
けんちゃん（スタッフ）が手作り市で出店した時に人気があったので、教えてもらうことにしました。ペットボトルを切ってじょうごを作り、それにふうせんをつけて粉を入れると、できあがりなのですが二の粉が、なかなか入らないので、わりばしで、ツンツンと押しました。ツンツンしていると ペットボトルの上から粉が ぶわっ!!! とふきだしたり、歩きながら ツンツンすると、そこら中に粉が〜。つかれたので ちょっと休憩のため、それをおくと「わぁ〜こぼれた〜」と大パニック。

顔も服もプレイスクールも粉まみれで、楽しく作ることができました。できあがったら、くにゅくにゅしたり、投げたりして遊んでいました。顔にしたい子は目玉ボタンや毛糸を使ったり、布をはりつけたりしていました。さっさと作りたい子はマジックで顔を描いておもしろがっていましたよ。　どの子も、できあがったら即 投げるので毛糸や布は はずれてしまい、どこかにとんでいったり片目になったり、大笑いで、投げごっこをしていました。投げている内にふうせんがバクハツして 粉の国になってしまうのでは……と思っていましたがふうせんも丈夫で無事でした。　しかし、貼りつけた顔のパーツはとんでいき のっぺらぼうに〜（あらららら）

「作らなーい」と言ってた子も、何個も作って うれしそうにお母さんに報告していました。　みんな うれしそうに持って帰っていました。スクィーズの顔と同じ顔のバックを作っていた子もいて、かわいかったです。

◎ 万華鏡

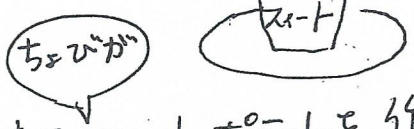
ミラーボード（プラスチックの鏡みたいな板）が手に入ったので万華鏡作りをしました。紙筒に、ミラーボードの三角おいを入れて、



のぞいてみると、なんだか不思議です。テープし、友達ペン、折り紙、なんでもへんてこで、笑ってしまいました。

そのあと、紙筒に小さな入れものをホットボンドではりつけて、その中にビーズやスパンコール、ラメなどを入れて、反対側からのぞいてみると、またまた不思議な世界が広がり楽しくなりました。自慢の万華鏡は、みんなに見せたいので、「見て見て」とうれしそうに大事に見せていました。

◎ スィートポテト



プレイスクールの畑でとれた、さつまいもで、スィートポテトを作ってくれました。元々、子ども達と一緒に作ろうと思っていたのですが、みんな楽しく忙しそうだったので、ちょび1人で作ってくれました。「僕、スィートポテトはにがて」と言ってた子も、おかわりを何個もして、「ちょび天才、まじ天才。」とべたぼめ。他の子もおかわり、おかわり…で、あっという間に、なくなってしまい、「もっと食べたかったのに。」って。香りに味、そしてできたてほやほやのスィートポテトは、心もおなかもほっこりさせるものでした。

「ちょび、また作ってね」と笑顔の子ども達からお願いされていましたよ。

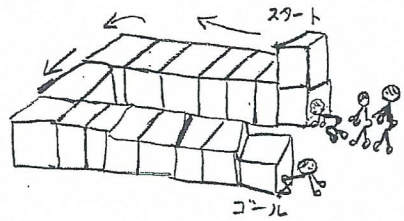
小学生水曜日クラス

ちょび

・ナースリークラスの親子で作った段ボール迷路？トンネル？

を使ってナースリーと同じ遊びで、大盛り上がり

先日ナースリークラスの親子活動でダンボール迷路？（トンネル）作りがあり、それを使って子どもたちが遊んだ。
そのあと、そのトンネルのコースを小学生クラスの子たちが見て、「これで遊んでもいい？」と言ってきた。　ナースリークラスではもうけっこう遊んだし、小学生が使ったら絶対壊れるので、それなら遊び倒して壊わそうと思い、「いいよ。」と言うと、「やったー！」の声。
始めは喜んで入って遊んでいたが、小学生には単純なコースだったので、そのうちなんとなく飽きて、ほかの遊びに移ってしまった。
そこでトンネルコースを小学生にもちょと難しいように、長くし、さらにＵターンあり、のコースに作り変えて、そのトンネルをいかに早く通れるかのタイムレースをすることにした。



これがけっこうおもしろくて、脚力とか腕力がある上級生や体が大きい子はさっさと通れそうだが、トンネルを早くすり抜けるのは不利で、体が小さい１年生の子などの方が有利だった。
なので、毎回１年生女子２人が最短秒数の記録、「やったー！私たちが一番」と大喜び。タイムレース１位の称号を手にしたのだった。
そして惨敗したのが上級生の体が大きい男の子だった。しかし体が小さい上級生は有利に試合を進めていった。
体が小さいに有利なレースだったので、「おれたち不利やん。」と大きい子は不満の声。
「それじゃあこのくらいの体の人は、２秒ハンディーにしよう。」とか、「３秒ハンディー」とか。「トンネルを壊した人は、３秒のペナルティー」とかを作ってレースをしたのだった。
（こんなことで上級生の子たちが真剣に遊ぶのが微笑ましく、ずっと笑いっぱなしだった。）

段ボールトンネルタイムレースが終了して、段ボールをおもいっきり壊して、細かくぶっちぎる遊びをやった。おもしろいことに、段ボールを引き裂くときには普段あんまり大きな声を出さない子でも「ウォッーー！！」と大きな雄叫びをあげて引き裂く子どもたち。
場段ボールをバラバラにちぎったあとは、　かんじ（小学６年生）とよっこ、ちょびグループに分かれ、ゴミ袋にどのチームが早くちぎれた段ボールを詰め込むかの競争をした。
みごと　かんじチームの優勝！　優勝した　かんじチームは、おやつを少し多めにもらって満足気な様子だった。

月2回クラス

11月の最後の土曜日、このクラスの活動日で、5週めだったので久しぶりの活動でした。"防災センター"に行く予定でしたが、私のミスでうまく予約が取れていなかったので、予定を変更。(ごめんなさい…。いつかまた行こうねと子ども達には伝えました…) まずはNHK放送局へ向かいました。バスで行ってもよかったのですが、朝からものすごーく元気でテンションも高かったので、その勢いのまま、歩いて行きました。クイズ、スタンプラリーをした後、子ども放送局へ。他のお客さんもいなかったので、係の方が、とてもていねいにカメラを回してくれ、背景も、大濠公園、天神の道路、そして天気図といろいろ変えてくれました。バックと同じ布を当てれば、あら、不思議! 当てた体が消えてしまったりとそれはもうみんな大はしゃぎ。その後、ニュースを読むスタジオにカメラは回ることになると、順番決めのジャンケンでしばしの時間…。やっと順番が決まり、台本を読むところになると、みんななぜか真面目に。かみかみながらもちゃーんと台本を読んでいました。そのあとのコメンテーターのコメントが「うんち」だとか「しっこ」などになるとグダグダになり、もう止まらない~状態に。(この頃になると係のお姉さんはいなくなっていました…ありがとうございました) ひとまわりちゃんと回って、最後のシメのシャウトをし、大濠公園へ。くじら公園で、すり鉢状の遊具で登ったり下りたり、けんちゃん(大人)を落とそうとしたり、落とされたりとちょっぴり激しくあそんで、帰りはめーいっぱいあそんだので、バスに乗ったのですが、うっかり赤坂門行きに乗ってしまい、ずっ降りるハメに…。さいごまでごめんなさい…でした。 <よっこ>

スポーツクラブ

けんた

11 月に入って、肌寒いなと感じる日が多くなってきた。
けれども遊び始めたら上着は必要ないくらいの気温だったので、去年よりは過ごしやすい気温で活動はしやすかった。
最近では、赤坂公園も涼しくなってきたので、蚊もだんだん数が減ってきた。すると、普段は貸しきり状態の赤坂公園だが、他の利用者がいることが多くなった。
10月は、先客が多かった。それでも、赤坂公園で遊びたいという思いが強く、グラウンドの方が空いていなくても、雑草が生えた隣の広場で遊んだりした。
先客がいて我々は雑草広場で遊びながら、グランドの様子を観察。そして、先客が帰ったら移動して、いつものグラウンドで続きをしたりすることもあった。

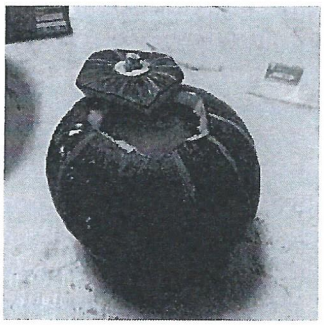
10月後半の活動で唯一公園に先客が居なかった日の事です。
赤坂公園が近くなると、今日は、誰かいるかなと言いながら、足早に赤坂公園に向かった。
誰もいないことが分かると、後ろを歩いてる人達に向かって”今日は誰もおらんよー”と叫んで前を歩くグループは、一足先に公園へ行った。すると後ろの人達も小走りで公園に向かってきた。
全員揃ったら、ノックやキャッチボールなど、寒いので少し体を暖めてからチームを分け、サッカーをした。高学年同士は、結構激しくボールを取り合ったりするけれども、低学年がボールを取りに行った時は激しくできないので、たまに低学年がボールを取ったりすると、皆から”ナイスー”と褒められたりして嬉しそうだった。
それが終わってから、野球をした。試合は10点の差がついていた。最後の攻撃で一気に覚醒したのか打線が繋がり、打てていなかった子も、その時はなぜか当たった。気づけば、2点差まで縮めていた。結局そこで試合には負けてしまったけれど、「あれはやばかったねー」と 2 点差まで縮めた自分たちの話題で持ちきりだった。

りょうりクラブ

たにとも

「りょうりクラブハロウィン！」

日ごとに寒さが身にしみる季節になりました。
11月最初の活動で、かぼちゃを使って「食べて」「見て」楽しむハロウィンを楽しみました。



まずはかぼちゃのくり抜き。フォークやスプーンを使って挑戦。みんなで交代しながら、綺麗にくり抜くことができました。
くり抜いた中身は裏ごしをして、ペーストに。これが中々時間がかかる！
最初は楽しそうだった表情も、段々と暗く悲しいものへ。
限界がきたら交代しながら、なんとかペーストに。
同時に他の人はさつまいも餡作り。切って、潰して味付けまでをスピーディーに！
「楽しいハロウィンは、甘くないぞ！」とさつまいも君が言っていました。

苦労して作ったかぼちゃソースとさつまいも餡は、ホットケーキと一緒に！疲れた体に優しい甘さのスイーツになりました。
食べ終わり、みんなが疲れてぐったりしている頃、黙々と彫刻をする姿が。ろうそくを中に入れて、光るかぼちゃにみんなのテンションも回復♪写真を撮って、大騒ぎ。りょうりクラブを始める上で、たにともの目標の一つにしていた季節のイベント。次も、楽しいものにしていきましょう！
普段の活動では、他のクラブのおやつを任されることがしばしばあります。
自分たちだけでなく、他の人に食べてもらうとなれば、責任重大。量は莫大です！

今月１番大変だったのは、‘‘全クラブの焼きそば‘‘その下準備を任された日でしょう。お団子やハロウィンで、多くのさつまいもと闘ったりょうりクラブですが、今回は野菜！「にんじんの皮むきたい！」「私も！」とピーラーを握ってニコニコしていたみんな。段々と「あれ？多くない？」とソワソワ。文字通り「山のような」野菜を切って体力を消耗。包丁の腕前も急成長したはず！
りょうりクラブ、今月は修行の１ヶ月でした！

忍者クラブ

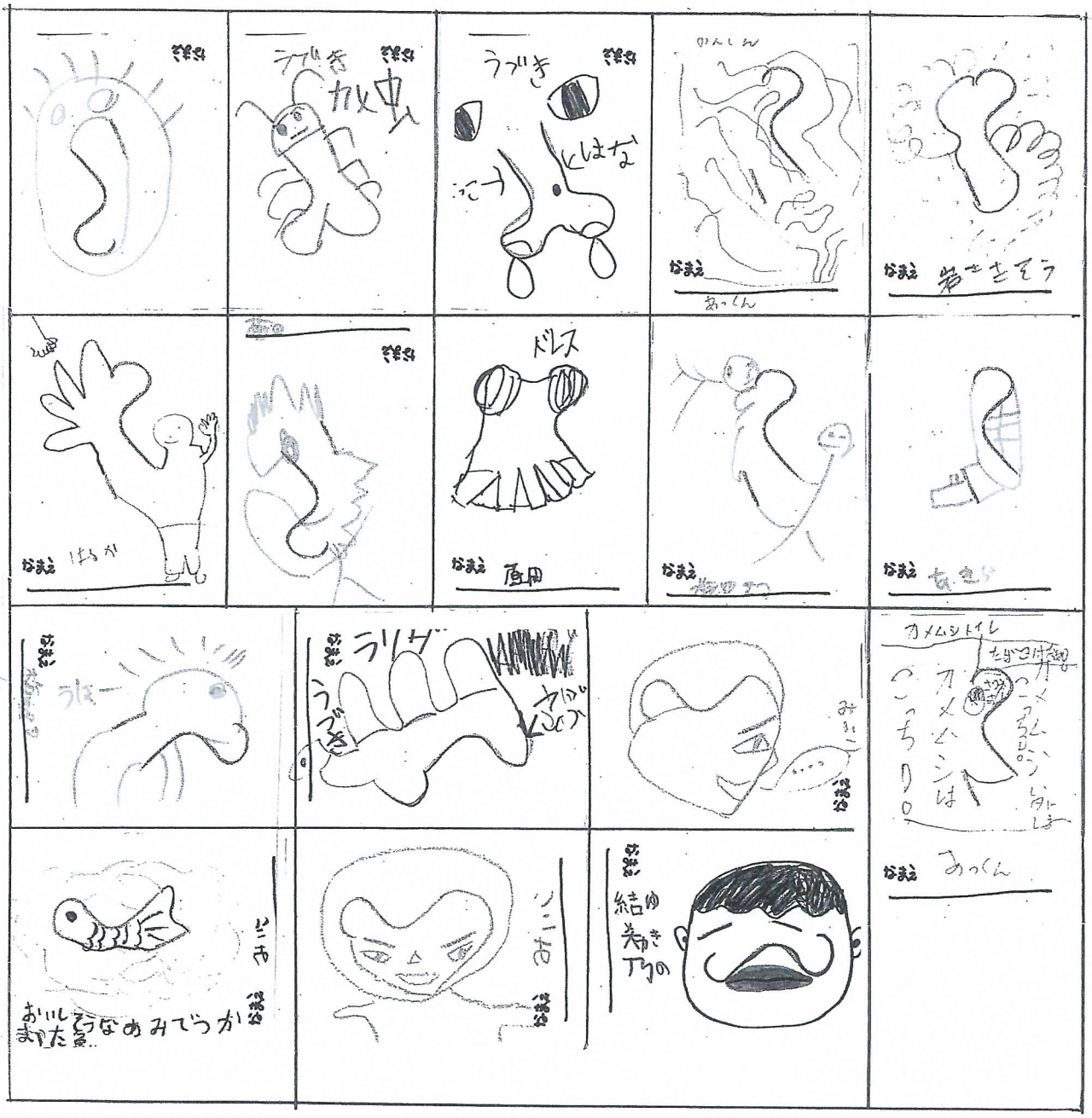
このクラブのメンバーは、物作りも好きな子が多く、「ね、ちょっと作りたい」とか「作ってきていい？」などポッとアイディアがわくと、工作室へ。今まで作りものにそんなに興味がなかった子も一緒に工作室へ入って、見たり、触ったりしているうちに、「ぼくも作ろうかなぁ」となって、形になると、うれしそうです。今月は竹で弓矢を作り、ずっと楽しんでいます。作った日の矢には、先端に吸盤をつけ、プレイスクールの窓を的にして、くっつくように。屋上の窓で何度か練習すると、みんなほんとうに上手くなって、ピタッとくっつくようになりました。そうなると、どんどんルールも子ども達の中で作られていき、全員が一列に並び「それっ!!!」と放つ姿はかっこいい!!!"パシッ"という音とともにきれーいに窓にくっつくと、それは気持ちいいのです。　次の週からは、まいづる公園へ弓を飛ばしに行きました。矢は長いストローの先に布を巻いたものです。空に向って放つと、これまた気持ちいい～！　この時も「あの間まで飛ばそう」「的にこの紙袋作っていい？」など、ずーっと動いていました。　その次の週も弓を持ってまいづる公園へ。前回あそんだ場所はその日は人が多かったので、移動。すると、ありました！いーい場所が！屋根の無いちょとした砦のような所で、身も隠せるので、6年生を中心にそれぞれ配置が決まり、そこから一斉に放ったり、ヤー隊の後にヤニ隊が放ったりなど作戦が練られ「構え～！」「放て～！」がすっごくかっこよかったのです！　このフォーメーションを見れるのは敵側の私だけなのです😋〈よっこ〉

イメージカードコーナー

今回のイメージポイントは

←これです。さてどんなところに使ってるなか？

子どもたちのアイディアがいっぱいの絵です。



子どもっておもしろい!!

Parfum de concombre（きゅうりの香り）

「…こうしてじっさまとばっさまは幸せにくらしたということです。めでたしめでたし…さぁお帰りの準備してお外に行こか。忘れもんしんていてや」絵本の読み聞かせが終わって今日の幼児クラスもおしまい。子どもたちはカバンや着替えの入った袋を持ってお母さんが待つ園庭に上がっていった。室内を見渡すとあちらこちらに忘れものがぽつぽつと残っているいつもの光景…しかも違う柄の靴下がふたつ、お名前も書いてなくて困っているとひとりの女の子が寄ってきて靴下をクンクンくんくんとにおぎ始めた。「この靴下はケンちゃんので、こっちはクンクン…アイちゃんの」「えーーーっ！　匂いでわかるの？」「うん、わかるよ。返してきてあげるわ」とあっけにとられているボクの手から靴下をとるや園庭に上がっていった。

そういえば、おやつにおにぎりを出した時にも「このおにぎりフーチンの匂いがする」といってた子どもがいた。もちろん念入りに手を洗って、がっつり塩を手にまぶし倒してから握ったので衛生面では問題はないはずなのだけれど、そういわれてしまうとボクの手の常在菌は最強かと思ってしまったのだった。

ほんのちょっとした香りにも敏感に反応できる子どもたちの嗅覚は生物的には危険を察知する能力に優れているということなわけで、われわれ大人は怠惰な日常と引き換えに生きものとしての能力を失ってしまったのかも知れない。思い返してみると、自分が子どもだったころにはいろんなものや場所が匂いとともにあった。仕立ての仕事をしていたおじいちゃんの部屋はちょっと綿ぼこりの匂いと新しい生地についたのりの匂いにミシンの油の匂いが混じっていて、仕出し弁当屋の親戚の家はすし飯のお酢の匂い、市営図書館の文学全集が並んでいる本棚あたりからはインクとかび臭さが混じった匂いがしていた。大人になってそんなことも日常になるととりたてて匂いを意識しないのかも知れないけれど、子どものころはすべてが初めてなので強烈な記憶として残っているのだろう。大人になってからもバリ島の空港に降り立った時には甘ったるい香辛料の香りがしてビックリしたことがあった。

匂いの感じ方は人それぞれで違っていて、いい香りと感じる人もいれば嫌な匂いと感じる人もいる。それは遺伝的な要因やその時の体調、さらに食生活や生活の経験や体験などによっても感じ方が違うからしい。実は靴下とチーズの匂いには「イソ吉草酸（イソきっそさん）」という同じ成分が含まれているので、チーズが好きな人にとっては靴下の匂いもそんなに嫌な感じはしないのだそうだ。また匂いはいろいろな成分が混じり合って出来ているので、バニラ(バニリン)に靴下の匂い(イソ吉草酸)を合わせるとチョコレートの匂いになるらしい。ということは、夏の子どもの忘れ物の靴下をビニール袋に入れてそこにバニラエッセンスを一滴たらすと…ゴディバのチョコレートのような香りになるってことか！(誰か実験してみて下さい。ボクはこわ過ぎてできません！)

「2-ノネナール」なる成分はきゅうりの匂いがするらしいのだが、実はこれ嫌われものの「加齢臭」の成分なのだ。つまり「おっさん」⇒「加齢臭」⇒「くさい」という三段論法は意外と思い込みによるもので、色眼鏡なくにおぐとそんなに嫌でもないのかも知れない。イメージや思い込みが邪魔をしているのだろう。これからは「おっさん」⇒「きゅうりの香り」⇒「さわやか」というイメージ戦略を展開すれば、世のおやじたちも救われそうな気がするがいかがだろう。

ところでプレイスクールに極度のきゅうり嫌いのリーダーがいるのだが、彼が齢を重ね加齢臭を発散し始めたらどんなことになるのだろう。自分が発するきゅうり臭さに悶絶してぶっ倒れるのか、それともそれを機にきゅうりが食べられるようになるのかなどと心配しながら、ボクは思わず自分のわきあたりをくんくんしてきゅうりの匂いをチェックしてしまったのだった。

（京都・雑創の森プレイスクール　福山記）

福岡プレイスクール　2019年　12月度予定表

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 ナースリー 幼児	4 小学生	5 ナースリー 幼児	6 ナースリー 幼児	7 小学生
8	9	10 ナースリー 幼児	11 小学生	12 ナースリー 幼児	13 ナースリー 幼児	14 小学生 午前クラス 小学生 午後クラブ
15 かるがもクラブ クリスマス会	16	17 ナースリー 幼児	18 小学生 もちつき	19 ナースリー 幼児 もちつき	20 ナースリー もちつき 幼児 もちつき	21 午前 かめかめ探検隊 午後 小学生 もちつき （午前・午後クラス）
22	23	24 ナースリー クリスマス会 幼児	25 小学生 クリスマス会	26 幼児	27 幼児 クリスマス会	28 小学生 午前 グループで遊ぼう 午後 人形劇場 人形劇団やじろべえ
29	30	31	・かめかめ探検隊　12月21日（土）10：00～12:30 ・ナースリークラス　もちつき　12月20日（金） ・ナースリークラスクリスマス会　12月24日（火） ・幼児クラスもちつき　12月19日（木）・20日（金） ・幼児クラスクリスマス会　12月27日（金） ・かるがもクラブ　12月15日（日） ・プレイスクール人形劇場　12月28日（土）　人形劇団やじろべえ			

冬休み　12月29日（日）～1月5日（日）まで